

# 愛媛県地域公共交通活性化指針の概要

〈平成24年4月策定、平成27年8月第1次改正、令和2年3月第2次改正〉

※2 重下線部が主な改正箇所

## I 指針策定の趣旨・位置付け

- 【趣旨】 ・地域公共交通は存続が危ぶまれる厳しい状況  
・路線・航路の維持・確保は、重要・喫緊のテーマ  
・市町等の新たな取組みがあるものの様々な課題  
⇒地域公共交通の活性化を図るための進むべき方向を指針として策定
- 【位置付け】 第六次愛媛県長期計画「愛媛の未来づくりプラン」における地域公共交通関連施策の推進に係る指針

## II 地域公共交通を取り巻く現状と課題

### 〈現状〉

#### (1) 社会環境の動向

##### 【社会・経済的要因】

- ①人口減少の進行。高齡化や学校統廃合等の進行により交通弱者が増加
- ②大型小売り店舗の郊外立地等により利用者が分散。買物弱者問題が更に深刻化
- ③自動車社会の進展により利用者が減少。高齡ドライバーが増加
- ④燃料価格の高止まりや新燃料への対応と、先行きが楽観できない経済情勢
- ⑤本県を訪れた観光客の定期路線交通機関の利用割合は低い。訪日外国人旅行者が急増
- ⑥交通情報の提供サービスを目的にインターネットを利用する者は多数

##### 【政策的要因】

- ⑦国では限られた交通機関を活用するため、現制度を見直す動き
- ⑧高速道路料金施策や整備の推進もあり利用者が減少

##### 【その他】

- ⑨県・市町の厳しい財政状況下で地域公共交通関連予算の確保が困難

#### (2) 交通モードの現状

##### ①鉄道

- ・訪日外国人の利用拡大に努めているものの、依然として利用者は低迷
- ・四国への新幹線導入に向けた動きが加速

##### ②バス

###### 【高速乗合バス】

- ・輸送人員は概ね増加傾向にあるが、一部路線で格安航空会社の競合が発生

###### 【乗合バス（生活バス）】

- ・事業者の負担が増加する中、支援する行政の負担も多大。運転手不足が深刻化

##### ③地域（市町やNPO法人等）による運送

- ・交通空白・不便地域カバーに取り組むものの、行政等の負担が多く、課題もあり

##### ④タクシー

- ・輸送人員、営業収入は大きく減少。運転手不足が深刻化。相乗りの一般的導入も

##### ⑤フェリー・旅客船

###### 【広域航路】

- ・高速道路料金施策等により利用者が減少し、現在も厳しい状況。船員不足が深刻化

###### 【離島航路】

- ・行政の補助により維持されているが、負担も多大。船員不足が深刻化

##### ⑥飛行機

- ・地方空港間の競争が激化。松山空港の利用者増加に伴い、受入環境の強化が急務

## 《課題》

地域公共交通ネットワークの充実

地域公共交通の利用促進

地域づくりとの連携

環境負荷の低減

大規模災害への対応

人材不足への対応

訪日外国人旅行者への対応

イノベーションの活用

### Ⅲ 地域公共交通の位置付けと取組みの基本方針・役割分担

《位置付け》 暮らしを支え地域を活かすための社会基盤

《基本方針》 地域全体で守り育てる

《役割分担》 ※地方公共団体の主体的役割が求められている

	国	県	市町
行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通施策の総合的・計画的な推進</li> <li>地域の実情に配慮した生活交通の維持・活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広域交通（県外交通軸・県内幹線軸）の維持・活性化</li> <li>市町・交通事業者・住民への支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町内交通の維持・活性化</li> <li>交通事業者・住民への支援</li> </ul>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">地域公共交通活性化に向けたリーダーシップの発揮</div>		
交通事業者	地域公共交通事業の維持（継続）・充実のための経営努力		
住民	地域公共交通を支える主体として積極的な利用		

### Ⅳ 地域特性別の地域公共交通の方向性

#### 【市街地】

地域公共交通で自由に移動できる環境の実現

- 交通モードの連携によるシームレス化などにより、充実している公共交通網の一層の活用

#### 【郊外地域】

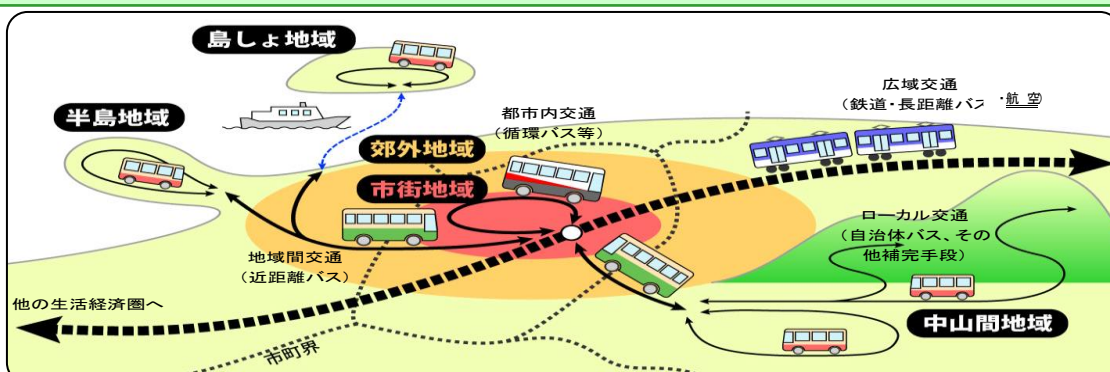
地域公共交通での移動に困らない環境の実現

- 生活バス路線の見直しやコミュニティバス・デマンド交通の導入など利用密度に応じた地域内の公共交通体系の構築

#### 【中山間地域・半島地域・島しょ部】

地域住民の生活を維持するために必要な移動手段の確保

- 地域の実情に応じた生活バス路線の見直しやコミュニティバス・デマンド交通の導入
- 公共交通空白地有償運送や福祉有償運送など地域住民が主体となった新たな輸送サービスの導入
- 離島航路の維持



## V 地域公共交通活性化に向けた施策テーマと展開方向

### テーマ1 / 地域が守る愛媛の公共交通

(1) 県と市町が連携した県内の地域公共交通の維持・確保

① 県の役割に基づく取組み

市町や交通事業者と連携・協働した県内の公共交通に係る課題解決に向けた取組みの実施

国への規制緩和等の提案・提言、国に対し地域の実情に応じた必要な支援を引き続き要求

本指針や網形成計画に基づく事業の推進、維持・確保に向けた支援及び支援制度の見直しの検討 等

② 市町の役割に基づく取組み

地域に適した持続可能な交通ネットワークの検討・導入

地元関係者との協議・合意に基づく計画の策定、同計画（網形成計画等）に基づく事業の推進

地域に適した交通網の導入や再編 等

②-1 生活バス路線の見直しやコミュニティバス等導入の検討と生活航路の活性化

②-2 住民主体の輸送サービス等の導入・連携 [公共交通空白地有償運送・福祉有償運送等]

②-3 タクシーの活用 [公共交通としての役割、観光・福祉・子育て支援等への展開]

(2) 地域づくりと一体となった地域公共交通の整備

① 地域づくりの支援制度の活用等による地域公共交通の維持・拡充 (観光イベント等との連携)

② 鉄道ネットワーク維持のための誘客促進等

③ まちづくり (コンパクト+ネットワーク) 施策と連携した地域交通ネットワークの検討

### テーマ2 / 地域に愛される愛媛の公共交通

(1) 利用したい地域公共交通への移行

① バリアフリー化の推進

② 交通モード間のシームレス化の推進 [市内電車空港延伸の検討状況等]

③ 利用しやすい料金体系の導入や運行 (航) 経路・ダイヤ等の改善 [運行環境の改善(バス優先レーン拡充等の検討)にも取り組む]

④ 乗継割引制度の導入

⑤ キャッシュレス化やデータ連携等の導入・拡充による利用者サービスの向上

⑥ イノベーションを活用したシステム等の導入推進 ⑦ パーク&ライド、サイクル&ライドの推進

⑧ 自転車を活用した公共交通の推進

(2) 住民等が主体となった利用の促進

① 住民・企業等の参加による利用促進のための仕組みづくり [体制や財源確保対策の検討等]

② 住民が主役という意識の醸成と情報発信の強化 [モビリティマネジメントへの積極的な取組み]

### テーマ3 / 地域が発展する愛媛の公共交通

(1) 四国の新幹線導入など鉄道の抜本的高速化への取組み

(2) 高速乗合バス路線の維持・拡充

(3) 本県と県外を結ぶフェリー航路等の維持・拡充

(4) 国内外との航空路線の拡充

(5) 駅・港・空港等と観光地や市街地のアクセスの向上などの観光ニーズに対応した取組み

### テーマ4 / 環境に優しい愛媛の公共交通

(1) 環境負荷の小さいバス・鉄道・フェリー等への利用転換 (人流)

(2) モーダルシフトの推進 (物流) [陸上トラック輸送から海上輸送・鉄道貨物輸送への転換]

(3) 車両・船舶等のEV・ハイブリッド・省エネ化やエコドライブの推進

### テーマ5 / 災害に強い愛媛の公共交通

(1) 複数交通ルート<sup>1)</sup>の維持・確保 [陸上ルートに加え、海上ルートの維持・拡充]

(2) 災害に強い施設整備の推進 [鉄道・港湾・空港等の耐震化等]

(3) 交通事業者・運輸事業者の事業継続計画 (BCP) の策定

(4) 県・市町における災害時の応援協定の体制整備 [トラック協会、旅客船協会、バス協会、ハイヤー・タクシー協会等]

## VI 推進体制

行政、交通事業者、県民・地域が「地域全体で守り育てる愛媛の公共交通」という基本方針の下、連携・協働して、様々な取組みを積極的に進める。

市町：地域公共交通会議(コミュニティバス・デマンド交通)、航路改善協議会(離島航路)

県：愛媛県地域交通活性化推進会議(バス、航路、鉄道)

} 連携・協働